



みんなで“つくる”福祉教育

これからの福祉教育のテーマは「ともに豊かに生きる」

「誰もが安心して暮らせる福祉のまち」をみんなで作っていくことは、自分とは違う誰かの背景や物語を知っていくこと。

その物語同士が交差していくことで新しい「福祉教育」が生まれる。

多様な地域の「協働実践」の報告をとおして、みんなが福祉について考えませんか。

令和4年1月28日(金)

14:00~16:00 受付13:30

浦添市社会福祉センター 大研修室

会場定員 50名

参加無料

参加申込はこちら↓

下記のQRコードより事前に参加申込をお願いします。



事前申込が必要となります。QRコードからお申込ください。
※QRコードより申込ができない場合は、住所・氏名・電話番号・メールアドレスをご記入の上、メールにてご応募下さい。

E-Mail: vol@urasoeshakyo.or.jp

※定員に達し次第申込を終了いたします。

◆登壇者

若者支援サークル
Bee Free

代表 宮城 仁太郎



宮城仁太郎

1997年生まれ。沖縄国際大学地域行政学科卒業後、一般社団法人まちづくりうらそえ 浦添市宮城っ子児童センターで勤務。地域福祉協力員としての活動や、若者支援サークル「ビー・フリー」の代表を務め、養蜂を通じた、ひきこもり等の当事者支援を行っている。

民栄自治会
会館

会長 玉那覇 康晴

玉那覇 康晴

1947年生まれ。「地域で困っている人を支えていきたい」と民生委員・児童委員として10年近く見守り活動や地域活動を行っている。また、2021年4月から民栄自治会の自治会長として、地域住民が安心・安全に暮らせるまちづくりを目指して活動している。

学生団体VONS

代表 島袋 未結

島袋 未結

2001年生まれ。県立那覇国際高校を卒業し、現在は琉球大学教育学部に所属。2019年に米国カンザス州へ留学。現地の学生の郷土愛と行動力に感銘を受け、帰国後、友人とともに「MUGUMグフードプロジェクト」を主催する学生団体VONSを立ち上げる。またコミュニティソーシャルワーカーと協働し、フードネーションの地域着を目指す。

◆総評・講話



上地 武昭氏

(おきなわ地域福祉研究会 会長)

テーマ

「地域共生社会の実現に向けた協働実践」(仮)

新型コロナウイルス対策推進中 COVID-19



発熱の前の方
入場はご遠慮願います



換気をしましょう



入場の際は
消毒をお願いします



マスクを着用
しましょう